

第三二〇回俳都松山俳句ポスト

第三二〇回開函

「渋柿」松山渋柿会長

戒能

多喜

選

特選三句

食堂の大きな窓や鯛雲

愛媛県松山市

越智 俊明

先づは杖洗ふて遍路足洗ふ

愛媛県今治市

真木 伸子

湯築城跡長き土墨や彼岸花

島根県松江市

佐々木 文雄

入選二十句

(市外)

一遍も子規も銅像秋うらら

愛知県名古屋市 亘航希

生き様は句に凝縮す獺祭忌

愛知県名古屋市 李哲宇

冬日差す三津の渡しの束の間に

福岡県宗像市 藤崎 由希子

中秋の風に吹かれて飛鳥の湯

福岡県北九州市 波多野 桜

秋雨や古き駅舎に子規の句碑

神奈川県藤沢市 西村 明宏

日あたりて置きしごとくに鴨の陣

大阪府枚方市 成定 紋子

城郭を浅黄斑のひらひらと

福岡県福岡市 中馬 彬登

赤シャツの人に道問ふ秋の城

静岡県磐田市 鈴木 竜川

秋晴れや地囷に陣どる金亀城

静岡県湖西市 亀松 悦子

帰りしな土産あれこれ盆帰省

埼玉県越谷市 小田 和夫

晴ればれと脱ぎ散らかして七五三

東京都大田区 岡田 登美子

石手寺の参道洗ふ秋の雨

佐賀県多久市 大石 ひろ女

秋風や子規逍遥の城下町

東京都練馬区 池内 正巳

(市内)

伊予小富士眺む渡しや秋の潮

愛媛県松山市 八木 重明

むき出しの太き根こや櫨紅葉

愛媛県松山市 村上 登喜子

天守から坊つちゃん列車まで時雨

愛媛県松山市 中矢尚

紅葉且つ散りて手水の清めをり

愛媛県松山市 曾我部 真弓

秋澄むや水琴窟に耳を当て

愛媛県松山市 重松 淳子

(十五歳以下)

かたつむりあじさいにのっっておどってる

東京都江東区 三上 れいな

夜十時あけたまどから秋の音

東京都江東区 黒崎 ちはる

伊予灘ものがたり賞

伊予灘の小さな駅舎小鳥来る

千葉県千葉市 亀井 武

投句総数	一、九七九句
市外	一、六〇三句
市内	三七六句
投句者総数	一、二一四人
市外	一、〇三一人
市内	一八三人

開函日

令和七年十一月三十日